

氏名町田 健児

【研究業績】

種別	名称（論文・著作等の表題、演奏会のタイトル）	単/共	発行・発表 の年月	発行・発表雑誌、会 場等	概要
学術論文	第62集 プロジェクト研究 合唱を通した男声発声指導と総合的音楽能力の育成－歌唱指導と総合的音楽能力向上の融合－	共著	2023年3月	筑波大学附属駒場論 集 第62集	本校では毎年中1から高3まで合唱コンクールを開催している。その為、歌唱活動が大変に活発である。音楽科ではこの行事に照準を合わせ声楽、発声指導を行う。本稿では授業を通し見えてきた効果的な男声発声指導と、フランスの音楽教育概念であるFormation musical, Noël Gallonが作曲したフランスSolfege教材を用いた実践による総合的音楽能力向上、また合唱作品への音楽的な影響の報告と考察を主な内容としている。
学術論文	筑波大学附属駒場論集 第63集 個人研究 「中高生の男声発声指導」	単著	2024年3月	筑波大学附属駒場論集 第63集	合唱部の定期演奏会までの練習過程で男声合唱特有の課題が見えてきた。本稿は時間的な制約がある中で発声指導と楽曲の音楽的な要素を合唱部員と、どのように深めていったのかを実践を紹介しながら報告したものである。
学術論文	筑波大学附属駒場論集 第64集 個人研究 「教職課程における音楽科指導法の実践」	単著	2025年3月	筑波大学附属駒場論集 第64集	武蔵野音楽大学音楽学部 音楽科指導法Ⅰの授業実践と指導過程で見えてきた教育現場に必要とされる教科教育の力とは何か。音楽科の授業から生徒に何を伝えて行くべきなのか、という問いを大学での授業過程を追いながら考察した

出版・著作	音楽之友社刊 教育音楽春号 授業・ライブ・レポート 筑波大学附属駒場中学・高等学校	教育誌 掲載	2026年4月	音楽之友社刊 教育音楽 春号	高校2年生芸術音楽選 択者の授業取材『レ ミゼラブル』上演創作 授業生徒の主体性を 引き出す為の授業デ ザインを主な掲載内 容とした。
学術論文	令和5年度『特定分野に得異な才能のある児童生徒への支 援の推進事業』文部科学省	単著	2024年3月	令和5年度『特定分野 に得意な才能のある児 童生徒への支援の推進 事業』2023年度報告書	合唱部に属する聴覚 的才能者の生徒がど のような感覚を得て 演奏し顧問（報告 者）アドヴァイスや 指導によって演奏や 日常生活の過ごし方 事業』2023年度報告書 に工夫、対応し生き 易さを確保していくの かを研究、支援のす ることを研究の目的 とした。
学術論文	令和6年度『特定分野に得異な才能のある児童生徒への支 援の推進事業』文部科学省	単著	2025年3月	令和6年度『特定分野 に得意な才能のある児 童生徒への支援の推進 事業』2024年度	同上 第2報
演奏活動	サロンコンサート 印象主義からプーランクへ ソプラノ 民秋理 バリトン 町田健児 ピアニスト 服部容子		2026/2/4	加賀町ホール	ラヴェル、プーランク 歌曲のチクルス演奏 プーランク「画家の 仕事」「よくある 話」ラヴェル「ドン キホーテの唄」等